



工場板金

写真左から) 寺山清作ものづくりマスター、受入担当の大窪昌次専務、受講者の大窪俊次さん

ものづくりマスター派遣先



有限会社 大窪鉄工

〒929-1314 石川県羽咋郡宝達志水町南吉田 39-1

代表者： 大窪俊光

資本金： 500万円

第二工場：石川県羽咋郡宝達志水町麦生ネ5

事業内容：金属板金加工

従業員数：20名（H26.7取材当時）

グローバル化が進む中、企業として生き残っていくためには、高品質なものを作るための技術力が重要です。これからは「うちの会社は小さいけれど、これだけの技術・技能があります」というところで勝負をしなければなりません。当社と同じくらいの規模の板金屋さん、石川県だけでも200社近くあります。その中で競争していくには、高い技術力を持っていることをお客様に見てもらわなくてはならないし、逆に見せられなければ仕事は来ません。何とか技術力を強化したいとの強い思いがあって、今回、「ものづくりマスター制度」を活用させていただきました。

実施期間	11月～12月
実施場所	有限会社大窪鉄工
受講者数	5名

楽しくものづくりをすることが基本 楽しさがなければ良品はできない

ものづくりマスター 寺山清作

本人にとってやりやすい方法に沿って 技能が身につくように工夫

打合わせの時点で、板金の展開方法、曲げ方法、組立方法、溶接方法などを教えてほしいと要望がありました。私の得意分野なのでお引き受けしました。その人の持つ良いところは伸ばしていきたいので、私から見たら「こうしたほうが良い」と思っても、本人が別の方法でやりやすければ、それを伸ばしてやりたい。その人の長所を見つけて伸ばしていくという指導を中心に、今回この派遣に臨みました。

ものづくりには答えがないので、指導する立場としては非常に難しい。その人の弱点を見つけて「これはダメだ」と言うのではなく、その人の作り方を活かしながら、その人の意見を聞いて「こうしたほうがやりやすいのではないか。時間短縮ができるのではないか」といった話をして、実際に自作マニュアルに沿って色々作ってみました。

会社全体の協力が 指導をより有意義なものにする

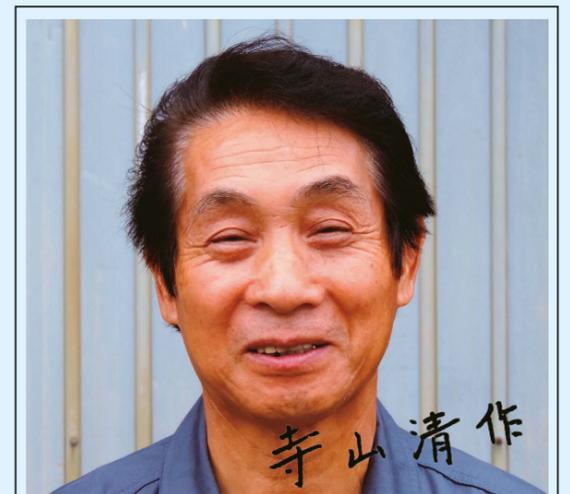
指導に当たっては、時間調整に苦労しました。お客様からの仕事を優先する中で、何とか時間をつくって実施しました。派遣講習はうまくできたけれど、納期が遅れてお客様に迷惑をかけたのでは意味がありません。受講者は社員5人ですから、中小零細企業で5人が手を止めるのは結構リスクもありますので、そこは配慮しながら、大窪様と打合わせをして進めました。

受講したみんなが真面目に真剣に取り組んでくれたので、私も教えがいがありました。教えられたことを自分の技術にしたいという思いを受け止めました。私が指導して、みんながものを作ってみて、それが速くできて「こういう方法で簡単にできるんだ」と話すのを聞いたりすると、やって良かったなという実感がわいてきました。

五感を駆使して身体に覚えさせる 「技能」「知識」の両方を的確に伝える

基本的なことをもう少し色々な企業で教えるようにしたいと思っています。技能は身に付くのですが、技能と知識が一体になって初めて人に教えることができるので、技能と知識を一体とした形で教えられたらいいなという思いはあります。技能はやっているうちに自然と身に付きますから、技能を裏付ける知識がどれだけあるか、そこが難しいと思います。教えるときに、一方通行の話は絶対にしないということに気を付けて、これからもやっていきます。

「ものづくりマスター制度」も「技能検定制度」も知らないという企業がたくさんあります。そこで、石川県板金工業組合にオブザーバーと呼ばれたときに石川県地域技能振興コーナーにパンフレットを用意してもらって、組合から会員に送ってもらい、少しずつ周知が図られてきています。是非もっと多くの企業に制度を活用していただきたいと思っています。



ものづくりマスター
寺山 清作（てらやま せいさく）

昭和19年4月10日生まれ
昭和63年度1級技能士 工場板金（機械板金作業）取得
平成2年度1級技能士 金属プレス加工（金属プレス作業）取得
平成3年度1級技能士 鉄工（構造物鉄工作業）取得
平成12年度 高度熟練技能者（金属製品製造関係・板金）認定
平成13年度 卓越した技能者の表彰「現代の名工（板金工）」受賞
平成25年度 厚生労働省ものづくりマスター（工場板金、金属プレス加工、鉄工）認定

指導から学ぶものの多さは計り知れない

受入担当者 大窪昌次 専務

「ものづくりマイスター制度」を活用して将来のリーダーを育てたい

板金工業組合などから「ものづくりマイスター制度」の話聞いたのがこの制度を知るきっかけです。最近では特に品質が求められる時代になってきました。品質の向上、時間短縮など、お客様のニーズに応えられるようにするためにも改めて基本を学ぼうということで、指導をお願いしました。

制度を取り入れるに当たっては、時間の調整で苦労しました。そして実技指導を受けるに当たって、社員の誰を人選するかで苦労しました。うちの会社で各部署の主要な社員を選んだつもりですが、将来は上に立っていくであろう社員に受講させました。上に立つ者がものづくりの基本を分かっていると、本当の意味で部下に教えることはできません。教えられたとしても、教えて相手に伝わるかどうかは別問題で非常に難しいです。

幅広い技能や知識を教えてもらえることが最大のメリット

上司が部下に教えるのと、専門の技能と知識のある人が外部から来て教えるのとでは、大きく違います。私も10年ぐらい現場で働いたあとに、今の役職に就きました。今は現場を離れているので、従業員は私が現場で仕事をしていたことを知りません。従業員も自信とプライドを持って仕事をしていますから、私が何か言っても、真剣に聞こうとしないわけです。一方、寺山さんのように外部のスペシャリストが来て教えると、聞き方が違うし、教える要点も違います。私は今まで経験してきた仕事に対する技術しか教えられませんが、ものづくりマイスターからそれ以上の幅広い知識を教えていただけるのが大きなメリットです。

社員の技能や作業スピードの向上が会社の利益向上につながる

「ものづくりマイスター制度」を知らない方が多いと思います。私はたまたま板金工業組合からその話を聞くことができたので、ラッキーでした。こういう良い制度があるので、広告宣伝にもっと力を入れていただければありがたいです。私どものような中小零細企業が受ける場合は、長い期間で受講したほうが活用しやすいと思います。技能や技術が上がれば当然、スピードも速くなり、利益もさらに向上できると思うので、「ものづくりマイスター制度」を是非活用していただければと思います。今回受講した後、基本的なことを教わったので技能検定に挑戦しようと、受講者5人が技能検定2級を受けました。その結果、2名が合格しました。実技試験は全員合格しました。



写真) 作業の様子

自らのやり方を見直すきっかけに

受講者の声

指導を受けてそれまでの自らの方法を見直す機会になった

現場で働いて10年ほどになりますが、技能や技術に関しては「これでもう自分は完璧だ」ということはまずあり得ないと思います。一生勉強という形になると思いますが、昔から寺山マイスターの知識と技能については何回も耳にしていました。今回こういう機会にめぐまれ、本当に感謝しています。

例えば、曲げるときの角度の修正の方法も、今までやっていた方法よりも寺山マイスターの方法のほうが速いです。

金属板を切るシャーリングにしても、寺山マイスターの方法を聞いて「ああ、そうなのか」と納得できるところがたくさんありました。例えば正方形の板を切るにしても、今までのやり方では、正方形になっていなかったかもしれないと思うくらいに、寺山マイスターの方法は参考になりました。機械が古くなればなるほど精度も落ちてきますが、その修正の仕方なども教えていただき、大変勉強になりました。

4日間の講習でしたが、講習によって費やした時間はすぐに元がとれます。自分たちが知らないことがまだいっぱいあると思うので、もしこういう機会があれば、また是非お世話になりたいと思います。



写真) 作業の様子

【地域技能振興コーナー担当者より】

「ものづくりマイスター制度」のPR不足は実感しています。業界団体等を通じてPRさせてもらうのが効果的な方法かと思っています。中小零細企業の方々は、時間を割いて本当に効果が出るものかどうか、よく分からないのだらうと思います。今回、この「ものづくりマイスター活用好事例集」を作ってPRできれば、もっと制度を活用しようという企業が出てくると思います。それとともに、ものづくりマイスターをもっと増やして、多様なニーズに対応できるようにしていきたいと思っています。

カリキュラム

	指導日	指導内容
1	11/9	展開方法
2	11/22	曲げ方法
3	12/11	組立方法
4	12/12	溶接方法